

こどもフェスタに参加しました

NPO法人さやま保育サポートの会
代表 諏訪きぬ
プレイススタッフ一同

1月25日、市民交流センターを会場にして、さやま子育て支援ネットワーク主催の第1回こどもフェスタが開催されました。1Fのホールでは、仲川狭山市長さんをお迎えして開会式が開かれ、続いて水栄太鼓で弾みをつけ、リズム縄跳び、ダンス、バトン…と楽しい出し物が繰り広げられました。2Fと3Fでは、ネットワーク加盟団体に武蔵野短期大学、秋草短期大学の学生さんも加わって、トンカチ・ベイゴマ・ふうせんアート・お話・ぶんぶんゴマ・人形劇・パネルシアターなどなど沢山のコーナーが出て、大勢の親子で賑わいました。プレイス奥富からは8名が参加し、デカルコマニー（親33人・子39人）マラカス（親42人・子55人）のコーナーを出して、お子さんとの楽しい交流の時間をもちました。

つくってみよう！



羊毛フェルトで携帯アクセサリ

“あの無心に針を刺す快感がたまらないのよね！”と来所されている皆さんからの熱い要望で今年もやりました！！“無心になる…”ってすてきなことですよ！とってもステキないちごのストラップが出来ました！！

うーん、かたちにならない…



ある日のランチタイム

11時45分からの手遊び・絵本の読み聞かせなどを終え、お待ちかねのお食事タイム…。皆さんでテーブルをつなげ…「〇〇です。よろしくお願いします。」「〇〇の母の〇〇〇子です。〇歳です。よろしく！」おひとりお一人が自己紹介して“さあ、いただきしょう”をして楽しいランチタイム。そしてみ～んな・な・か・ま♡

校長先生と話そう

1月17日、奥富小学校の小峰正司校長先生においでいただき、お話しを伺う会を開きました。長い目で子育てを！と願って企画している講演会。

“根っこをしっかりと”を表題に、小峰先生はご自分の子育て経験も交えて、丁寧にお話を進められました。

- ① お子さんの将来は？
どんなお子さんになってほしいかを書きましょう。
- ② 子どもは見ている！
言動の不一致。大人としての言動
- ③ 見える学力、見えない学力？
- ④ 子育てが難しい！

物が豊富で情報量が多く価値観と多様化等の中での子育ては…？

先生の子育てと教育実践を通じてのお話は、お母さんの胸にストレートに飛び込んでいきました。今の子ども達のお話なども先生から発せられる言葉のひとつひとつが身に沁みるようでした。終わった後も「お話しを聞きながら涙をこらえるのに必死でした」、とか「改めて自分を反省しました」、「奥富小学校に入学したいです！私が…」という方も。“子どもが育つ魔法の言葉”（ドロシー・R・ノルト著）の詩を輪読して終わりました。



話に聞き入って…



満たされた表情の皆さん、ステキなひとときでした。

健康教室 親子ヨガ

見て下さい！このお姿！！なんて気持ちよさそうなのでしょう。そして伸びているお母さんを椅子がわりにしている子や、お母さんと一緒にヨガに参加している子ども…。いいなア…正に親子ヨガ！！心も体もリフレッシュできたかな！

がんばるぞ～



私は一休み…



お母さんはヨガ…僕たちはおしごと…

